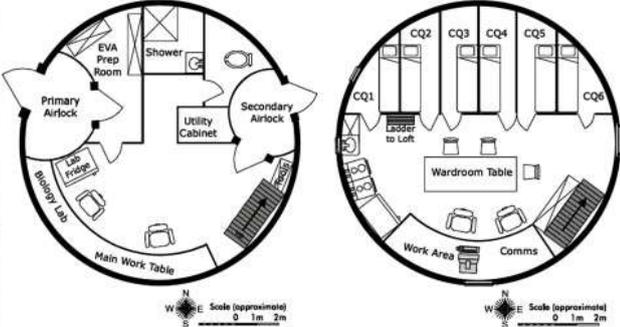


名称	Flashline Mars Arctic Research Station (FMARS)
国籍及び場所	カナダ、デボン島
開発機関	火星協会
運用機関	火星協会
施設環境	<input type="checkbox"/> 閉鎖系居住・ <input checked="" type="checkbox"/> 隔離
体験可能な危険状態	<input type="checkbox"/> 船外活動・ <input checked="" type="checkbox"/> 隔離(Isolation)・ <input checked="" type="checkbox"/> 過酷な環境(Hostile Environment)・ <input checked="" type="checkbox"/> 通信遅延・ <input checked="" type="checkbox"/> 明暗周期・ <input type="checkbox"/> 地球からの距離・ <input type="checkbox"/> 重力・ <input checked="" type="checkbox"/> 月/火星類似地形
施設概要 (開発年、規模、特徴等)	米国ユタ州のMDRS(Mars Desert Research Station)と同様のコンセプトで建設された極限環境模擬火星生活実験施設。カナダのデボン島にある模擬火星基地は2カ所あり、その最初に建設された施設。この基地は、北ヨーロッパ、ロシア、米国、カナダ、グリーンランド、アイスランド、フェロー諸島、スコットランドに位置する現在 89 の地上フィールド基地の北極圏ネットワークである EU-INTERACT のメンバー。EU-INTERACTとは北極圏における地球の研究と監視のための国際ネットワーク。完成は2000年夏。プロジェクトの最終的な費用は130万ドル、大手企業とのスポンサーシップを通じて調達。インターネット企業のFlashline.comは175,000ドルを寄付、プロジェクトにその名前を付ける。その他、キルシュ財団、国際非政府宇宙開発財団(FINDS)、およびディスカバリーチャンネル(最初の2年間、放送局の活動に対する独占的な英語テレビ放映権を購入)が含まれた。(キルシュ財団創設者のステューベン・キルシュは米国の起業家。光学式マウスの発明者の1人)。各年度のシミュレーションには多種多様な企業団体からの寄付によって運用。
研究内容	地球物理学実験、地震計模擬設置、地下水探査のための低周波電磁探査機器をテスト、高出力レーザー治療装置を使用したレーザー治療調査研究、月面探査車テスト、クルーにGPSと心拍数モニターシステムを組み合わせたGarmin Forerunnerを装着し、地理的データと生理学的データを同時に収集しGoogle Earthとリンク、MITのミッションプランナーソフトウェアの進化に役立つデータを収集、等々他にも多数、SNSの利用も膨大な量に。
施設関連画像	   
実施されたプログラム/ミッション	2001年クルー1~クルー6、2002年クルー7、2003年クルー8、2004年クルー9、2005年クルー10、2007年クルー11、2009年クルー12、2013年クルー13、2017年クルー14 (村上祐介氏参加)
参照資料	https://en.wikipedia.org/wiki/Flashline_Mars_Arctic_Research_Station#Crew_1_(2001)